

市町村図書館等への振興策について（案）

前回(R2年度)に提示した市町村図書館等への振興策

1. 全市町村に向けた支援

= 市町村における図書館の価値・施策の優先度を高める

- 首長部局、教育委員会を対象としたセミナーや講座、働きかけの実施**
- ・図書館サービスへの理解を深める講座や体験の提供
(対象) 市町村(行政や教育委員会)、地域支援企画員など
- ・**図書館を活用した家庭教育への支援(家庭教育支援基盤形成事業)[拡充]**
 - ・市町村が実施する親子が絵本を通してふれあう機会を提供するためのブックスタート事業の助成
補助率：国1/3、県1/3、市町村1/3
効果：親子での継続した図書館利用の契機

2. オーテピア高知図書館サービス計画にもとづく市町村立図書館等への支援

振興策に活用

- 巡回訪問、物流サービスなどの活用による、県民が等しく図書館サービスを受けられる環境の提供の推進
- 人的支援：巡回訪問
 - 物的支援：物流サービス など

3. 個別の市町村に向けた支援

= 他市町村のモデルとなり得る成功例をつくる

- 図書館(室)の振興に取り組む市町村への支援**
- 新たな整備計画が進んでいる図書館への支援**
- ・**図書館利用促進支援**
住民や施設職員等を対象に、地元でニーズのある分野と図書館との連携・活用の在り方を学びながら、レファレンスやビジネス支援を体験する機会をつくり出す。
効果：来館者・レファレンス件数の増加、他業種の連携強化等
⇒地域からの図書館への需要拡大
- ・**アウトリーチサービス拡充支援**
アウトリーチサービスの拡充に向け、対象となる地域の施設や図書館環境を分析し、適切な規模での実施が行えるよう、サービス内容の企画・提案や運営体制の指導等の支援を行う。
効果：図書館へのアクセスシビリティの向上
⇒図書館の利用機会の増加、地域からの図書館への需要拡大

前回(令和2年度)協議会の意見の概要

- ・一人一台タブレットを活用した本に触れる機会の提供 について考える必要がある
- ・市町村でも課題解決サービスができるようにする必要がある
- ・市町村との連携が一層必要

これまでの主な取組など

1. 全市町村に向けた支援

- 市町村の状況把握・助言等**
各市町村に訪問し、図書館等の状況、課題、要望等の聞き取りや県の振興策・支援について説明を実施。
 - ・現状の聞き取り・個別支援に向けた訪問 (R3:2市、R4:1市)
 - ・「第四次高知県子ども読書活動推進計画」等の説明・現状の聞き取り訪問 (R4:33市町村) ※1市町村は書面での回答
- 行政職員を対象とした研修会等**
 - ・市町村等の新規採用職員研修・県職員研修において図書館活用講座動画を提供 (R4:4月～7月配信)
 - ・地域支援企画員を対象とした研修で県の取組を説明 (R3:1回)
- 家庭教育支援基盤形成事業**
 - ・「家庭教育支援基盤形成事業費補助金」を活用し、ブックスタート事業を実施した市町村 (R2:2市町、R3:5市町、R4:5市町)

2. オーテピア高知図書館サービス計画にもとづく市町村立図書館等への支援

- オーテピア高知図書館サービス計画にもとづく支援**
- 3-4. 連携・支援及び図書館の活用 (1)市町村立図書館等への支援**
県民がそれぞれの地域で読書し、役に立つ情報が得られる環境を整える。
 - ①人的支援
 - ・巡回訪問 (R2:61回、R3:80回)
 - ・市町村立図書館等の職員を対象とした研修 (R2:12回、R3:14回、R4:12:10回)
 - ・研修動画の配信 (R2:4講座、R3年度:20講座、R4:54講座)
 - ・市町村図書館等に向けたブログでの情報発信 (R2:21回、R3:29回)
 - ②物的支援
 - ・物流便による市町村への資料の配送 (R2:118,480点、R3:129,254点)
 - ・移動図書館による図書の配本 (R2:54,373点、R3:59,602点)

3. 個別の市町村に向けた支援

- 市町村図書館等振興事業**
地域住民が、図書館の役割について理解を深めることを目的に、図書館等の振興に取り組む市町村において、個々の状況に応じた講演会やワークショップを開催
 - ・**須崎市** (R3:14名) ※令和5年度新図書館開館予定
テーマ：図書館を使った災害への備え、災害時における図書館の役割
 - ・**土佐市** (R4:15名)
テーマ：やさしい日本語による情報発信－みんなが使える図書館を目指して－
 - ・**南国市** (R4:15名) ※令和6年度新図書館開館予定
テーマ：誰もが読書を楽しむために－図書館のバリアフリーを考える－
- 【その他】
- 県計画**
 - ・第2期オーテピア高知図書館サービス計画 (R3策定)
 - ・第四次高知県子ども読書活動推進計画 (R4策定)
 - ・高知県読書バリアフリー計画策定検討委員会設置 (R4～)

現状・課題

<現状>

- ・県内の公共図書館設置市町村 (H30:24市町村、R4:24市町村)
- ・人口段階別の延床面積が全国平均を超えている市町村 (H30:4市町村、**R4:5市町村**)
- ・人口段階別の蔵書冊数が全国平均を超えている市町村 (H30:5市町村、R4:5市町村)
- ・人口段階別の資料費が全国平均を超えている市町村 (H30:6市町村、**R4:8市町村**)
- ・人口段階別の人口一人当たりの貸出点数が全国平均を超えている市町村 (H30:2市町村、**R4:3市町村**)
- ・人口段階別の専任職員数が全国平均を超えている市町村 (H30:7市町村、**R4:8市町村**)

<課題>

- ・図書館が無い市町村も多くあり、県内市町村の読書を取り巻く環境は地域によって様々な状況にある
- ・延床面積や資料費等が、新たな図書館整備を進める市町村を中心に全国平均を上回っているが、一方で図書館整備等の大きな動きのない市町村においては、資料費等が減少傾向にある
- ・新たな図書館整備を進める市町村への支援や、市町村の個々の状況に応じた働きかけや情報提供を引き続き行い、**図書館が地域の可能性を広げる「知のインフラ」であることを発信することが必要**

今後の主な取組 (案)

<市町村への支援・働きかけ>

- ・生涯学習課とオーテピア高知図書館が連携・役割分担しながら**市町村訪問などによる図書館活用への働きかけを実施**
- ・リモート研修も視野に入れ**市町村図書館職員等を対象とした研修を実施**
- ・オーテピア高知図書館が、市町村立図書館職員等に対し、**あらゆる機会を捉え市町村向サービスを紹介・説明し、活用を促進**
- ・各自治体の図書館整備状況等を考慮しながら、**図書館未設置市町村への県立図書館の移動図書館運行の重点化について検討**
- ・各市町村のニーズや課題を把握し、**個別の状況に応じた「市町村図書館等振興事業」を継続して実施** 等